

令和8年度 第1回釜石市立中妻公民館運営審議会 議事録

1. 開催日時 令和8年5月19日（火曜日）午後4時00分～ 午後4時45分
2. 会 場 中妻公民館
3. 出席委員 6人
佐々木啓子委員、佐々木ひろ子委員、高橋一見委員、
村上雄子委員、佐藤力委員、万城目千佳代委員
4. 欠席委員 伊藤郁子委員
5. 事務局等 5人
二本松史敏市民生活部長
まちづくり課 佐藤貴之課長、佐々木佳苗主幹
中妻公民館 小山田富美子館長、菊池洋範館長補佐
6. 傍聴者 なし
7. 結 果 二本松史敏市民生活部長のあいさつ後、会議が成立することが告げられ、午後4時00分開会。
委員長及び副委員長の選出について、委員長に佐藤力委員を、副委員長に佐々木ひろ子委員を選出した。
令和8年度中妻公民館の運営方針（案）について及び令和8年度中妻公民館事業計画（案）について、別紙釜石市立中妻公民館令和8年度事業計画を事務局から説明し、協議を行った。
地域のコミュニティ形成の拠点として、各種交流の場の提供と促進を図ることとし、事務局案のとおり承認された。
午後4時45分閉会。
8. 内 容
〈市民生活部長あいさつ〉
委員の皆様には、日頃から公民館事業を様々な角度から見守り、ご支援いただいていることに感謝申し上げます。
公民館は、子どもから高齢者まで、すべての世代の学習活動を支える場として設置されている。また、地域の各種団体の活動拠点としても重要な役割を担っている。
応援センター単位で整備されている公民館は、地域の皆様に活用されてこそ価値がある施設である。今後とも積極的な利用と協力をお願いしたい。
(1) 会議の成立
〈事務局〉
本日の審議会は、委員7名中6名が出席しており、釜石市立公民館規則第10条第3項の規定により会議が成立している。
(2) 委員長及び副委員長の選出
委員から「事務局一任」の発言があり、事務局案として、委員長 佐藤力委員、副委員長 佐々木ひろ子委員を提案したところ、異議なく承認された。

(3) 協議事項

○令和 8 年度中妻公民館運営方針（案）

○令和 8 年度中妻公民館事業計画（案）

事務局から、運営方針及び事業計画について説明を行った。

(4) 質疑応答

〈委員〉

自主活動グループは主にどのような活動を行っているか。

〈事務局〉

合唱、健康体操、囲碁、手芸・バッグ製作、英会話など様々ある。27 団体が登録し利用している。

〈委員〉

なかよし食堂の開催に当たり、公民館の協力を感謝している。

(5) 審議結果

令和 8 年度中妻公民館運営方針（案）及び令和 8 年度中妻公民館事業計画（案）は異議なく承認された。

(6) その他・意見交換

〈委員〉

公民館だよりを通じて多くの事業を拝見している。充実した活動に感心している。

また、子育て支援センター事業においても、公民館を活用しながら地域との交流を深めていきたい。

津波警報発令時の保育園児の避難について、園児を大天場運動広場へ避難させた後、管理棟や双葉小学校へ移動するなど長時間に及んだ経緯があり、暑さや寒さへの対応、小さな子どもたちの負担について保護者からも心配する声が寄せられている。

〈議長〉

現在の避難体制は津波想定に基づいて設定されている。管理棟は一時的としては活用できるが、長期滞在を前提とした施設ではない。小さな子どもや高齢者への配慮が必要であることは認識している。

〈まちづくり課〉

6 月 13 日から立正大学のデリバリーカレッジが行われる。会場は中妻公民館。3 回の講座になっている。1 回だけでも構わないので申込の上参加していただきたい。

市民の異文化理解を推進するため、「外国ひろば」を開催している。今回は「中国編」。文化や言語のほか最終日は料理教室を行う予定となっている。参加していただきたい。

〈まちづくり課長〉

少子高齢化や核家族化が進み、人と人とのつながりが希薄になる中、公民館活動は地域住民同士の交流を支え、孤立防止にも重要な役割を果たしている。

今後も地域の皆様の協力をいただきながら活動を進めていきたい。

〈市民生活部長〉

自主活動グループをはじめ多くの事業が活発に展開されていることは大変心強い。

日頃からの地域のつながりが、防災や見守りなど様々な場面で力になる。今後も地域コミュニティの形成に向けた公民館活動に期待している。

(8) 閉会

〈事務局〉

今後も世代を超えた交流や学びの機会の充実を図り、地域の実情や委員からの意見を踏まえながら、公民館が地域コミュニティの拠点となるよう運営に努める。

以上をもって、令和 8 年度第 1 回中妻公民館運営審議会を閉会する。

閉会：午後 4 時 45 分